



「たべやすいバランスシリアル」イメージ。

高齢化社会の食課題に応える シニア向け朝食シリアルの開発

日本食品製造合資会社は、シリアルやオートミールなど穀物加工食品の製造を手がける企業であり、夕張郡由仁町の三川工場と栗山町の栗山工場で商品を製造している。

現在、国内の65歳以上の人口は約3,600万人と総人口の約3割を占めており、今後も増加が見込まれる。特に単身または夫婦のみで暮らすシニア世帯では、準備に手間をかけにくい食事内容が簡素化しやすく、栄養バランスの偏りや不足が課題である。一方で、シニア層のヨーグルト喫食率は高く、日常的な朝食として定着している。そのため、複数の素材を一度に摂れ、ヨーグルトや牛乳と組み合わせて手軽に栄養バランスを整えやすいシリアルは、シニア世帯の朝食として有望な食品といえる。

しかし従来のシリアルは粒が大きく硬いものが多く、ドライフルーツが歯に付着しやすいなど、咀嚼力が低下しやすい高齢者には食べづらいという課題があった。こうした背景から、同社はシニア層の咀嚼力や栄養ニーズに配慮し、手軽に栄養を補いながら健康的な生活を支える新しいシリアルの開発に取り組んだ。

「たべやすいバランスシリアル」で 健康寿命の延伸への貢献を目指す

シニア市場のニーズ調査から開発を進め「たべやすいバランスシリアル」が完成した。健康志向のアクティブシニア層をメインターゲットとし、サクサクと軽い食感で歯につきにくいこと、フリーズドライのいちごや小豆、ココナッツチップなどの小粒素材を配合している点が特徴である。

また、フレークを小さくすることで噛みやすさが向上し、硬さの異なるフレークやオートミール、フリーズドライフルーツなどを組み合わせることで、無理なく噛める適度な咀嚼感を生み出している。食物繊維やカルシウム、鉄分などの栄養素を摂取できるよう設計されており、牛乳やヨーグルトと組み合わせることで、手軽に健康的な食生活や体作りの基礎となるPFC(たんぱく質、脂質、炭水化物)バランスのよい朝食を実現できる。

同社のミッションの一つは、商品を通じた健康寿命の延伸への貢献である。今回新設した商品特設サイトのほか、今後は積極的な展示会の出展などによりプロモーションを展開する予定だ。認知拡大を図りながら、健康的な食生活の提案を通じて、健康寿命の延伸への貢献を目指していく。



展示会「春季Food convention 2026」東日本会場に出展。



試食提供を行いつつ、来場者の反応の把握につなげた。



アイスクリームと一緒に食べるのもおすすめだ。

responsible party

新しいものづくりへの 挑戦を後押し

新規事業に挑戦するハードルを下げ、0からの取り組みを後押ししてくれました。このような機会をいただいたこと、大変ありがたく感じています。



商品開発部 主任／
山田 彩乃

自然の良さをそのままに | 日本初のシリアル製造企業。食生活の向上に寄与すべく、穀類や野菜類加工品を開発します。

日本食品製造合資会社

札幌市西区八軒一条西1-2-10 TEL 011-611-0224 FAX 011- 611-2225
設立:大正7年 従業員数:133名 代表者:代表社員 戸部 謙ルイス

URL <https://www.nihonshokuhin.co.jp/>

